

第5章 地域の課題を克服するための対策及び将来像づくり

地域の課題整理と地域資源・特性再発見結果を策定会議委員全員が共有し、課題抽出と同様にワークショップ形式による、課題を克服するための対策と将来像づくり作業を行った。

＜ワークショップの手順＞

委員全員によるフリートーク ⇒ カード作成 ⇒ 類似意見整理 ⇒
意見カード集約整理 ⇒ まとめ ⇒ 発表



奥大野の活性化をめざして

課題への対策

生活基盤の改善

国営農道と奥大野バイパスを直結させる
奥大野長岡線と府道を結ぶバイパス新設
除雪機械・雪の始末などを考えてきれいに
散歩・ウォーキング等できるよう常吉川堤防を整備
市の予算を確保し合併浄化槽を増設
街灯を増やす・設置場所を考える

公共施設の改善

「寺に古本を集め子どもに開放」などをする
公民館の周りを整備し手作り遊具等を整備
第二小下をバレーコート・テニスなどの遊び場に
子どもの遊ぶ場所の近くにお年寄りの集会所を
ウォーキングロードを整備すれば出会い・会話が可
わくわく公園にベンチを設置・整備
平太郎山へ防災備蓄倉庫を新設
祭事用道具のため元作業場内に換気扇をつける
公民館の増築
家庭で不要の本を持ち寄り整備して図書館を作る
文化財がひと目でわかるようにする
新戸古墳の整備

地元産業の振興

地酒の復活（区民からオーナーを募ってみる）
特区でどぶろく等を作り売り出す
B級グルメ（村づくり委員会ラーメン・焼きソバなど）
四季物（野菜の天ぷら・ラーメン・酒等）を販売
集落施設・産直販売所等を小さなものから作る
楽農朝市の再開
産直施設づくり希望者に経営を任せる
桜公園等をウォークラリーができるよう整備しPR
里山の美しさ・豊かさを前面に出してPRする
防護柵の設置

生活環境（利便性）の向上

村営食堂創設
空家を活用したミニサロン

目標・将来像

ウォークラリー場所には国営地が適している
体を動かせる運動ができる行事を増やす
冬の行事が無いのでどんどん祭をしたら良い
つつじ祭をする
「ええ里」ではもっと個人生産者が物品を出店してほしい
観音さん等の日にちを放送で案内（いつも分からない為）

人間性・モラルの欠如

大人から大きな声で挨拶に取り組む（チラシ・放送）
奥大野の歴史整理・地域の語り部を養成
どんなボランティアが必要か区民に知らせていく
奉仕活動を期間限定とし協力団体に加入してもらう
祭は負担を少なくする
不合理なしきたり等について具体的な事例調べ
全伝統を残すのは限界がある為、会合を開き整理

人材不足

集める・募集することも大切
役員決めなどに大勢の人が参加して決めていく
課題を色々作り全員が参加するように役割分担
どんな人材が必要か等全区民を含めて考えていく
もっと皆（若者）が出てきてくれるような事をする
夜なべ談話・出前講座を活用した研修会の機会作り
20代は消防・30代からは村づくりで人材育成
若い人だけで好きなことをやらせてみる
イベント後の片付けを若者だけにさせない
イベントの目的をPRし意識を持つ人を増やす
ハード事業はお金が余っている人に頼む
隣組長から組員への落とし込みができていない

農林業生産基盤の改善

奥大野の米を区民が食べる事で農家経営を助ける
お米のオーナー制度を検討
農業法人の立ち上げ
素人でも農業に参加できる条件を作る
集落営農を進める
兼業農家を育成・新規就農講座開設
未利用農地の利活用アイデアと利活用者の募集
休耕田や荒れた山林を共同農園として活用
空地を小さく区切って市民型農園を作る
環境美化活動

自然環境の改善

蛍の為に川の整備・水浄化の行動
奥山・田舎地の林道整備
桜山公園の拡充（全山桜を植樹する）・充実
国の補助事業と併用し道の整備と体験場所を作る
まんだら池のバスを駆除

少子高齢化の進行

安い住宅地の整備（持家家族を増やす）
高齢者のために有償ボランティアを作る
独居老人の為に自分の用のついでに一緒に買い物

課題を克服して新たな村づくりを！

奥大野の活性化をめざして

奥大野の将来像

生活環境

道路整備・歩道確保で安全な村にする
「お江戸温泉物語」のような施設を作り憩いの場に
住宅地の確保・開拓を積極的にして区民増
年寄りも一人前に働ける施設の設置
健康長寿村＝体に良い空気・体に良い食べ物
田舎の良さを活かした村づくり
老人ホーム創設（楽しく過ごせる生きがいのある場）
送迎制度（イベント後の飲酒のため）
施設や環境整備
桜山公園に続く公園づくり
若者が働ける場所＝結婚・出産が増え元気な村

自然

「桜の村」奥大野にする（桜山を増やす）
自然が豊かで季節が感じられる村
ゴミが無く花や植物が生き生きしている村
豊かな里山
桜草を全戸で満開にする
豊かな環境を活用（紅葉を楽しむ雑木林）
グリーンガーデン村おくおおのの創造

地元産業

丹後の玄関口として倉垣市（何でも市）の開催
高齢者対象の憩いの総合施設作り
全国にアピールできる名産物の開発
観光地づくり
スイーツの村作り（和菓子も良い）
美味しい食べ物・温かい人情・美しい自然で観光誘致
地産地消を推進し地元産業の活性化・雇用創出
丹後観光の拠点を目指す
荒廃国営農地を乗馬クラブと茶飲みハウスにし観光地化
区営の販売所設立
未使用農耕地をグラウンドに整備し活用して活性化
田・畑・荒地を活用する商用等に使用する事業作り

イベント

おりで捕まえた獲物をイベントでおもいきり出す
高齢層だけ参加する複数イベントを減少・廃止
幅広い年代が参加できるイベントを複数計画する
学生の地元就職支援（地元に残ってもらうため）
就職調査やPR
学生でも参加できるイベント確立
若者が参加できるような行事をもっと多くする
倉垣音楽祭を年間実施（春夏秋冬）
音楽の村創造

コミュニティ

区民みんなが楽しく過ごせる暮らし良い村づくり
区民が生きがいを持って暮らせるムード作り
自分の個性を出して楽しく生活できる村
区費の安い村づくり
豊かな人情
互いに助け合える雰囲気づくり
育児中の若夫婦が気安く相談できる人がいる村
体が元気な人が多い村（自給自足）
昔からある行事等だけを残した静かな村づくり
人口増やす対策
受注配達が老人世帯の声かけ
積極的に意見や提案を受け入れる体制の整備
異なった意見を言う村八分にされる環境をなくす
古いしきたりばかりで良くなならない
地区の子どもに自主性を持たせる
昔の子供会を復活させる（自主参加で）

農業

自然農法日本一村（客が農産物を買いに足を運ぶ村）
国営農地でブランド米作り
体験農業のできる村（食事・宿泊可）
産直販売施設・コミュニティ（区民・観光客の憩いの場に）
農業の集落営農を推進
農業法人による地域水田経営（農地集積で効率的経営）

公的事業

祭事用等の道具倉庫を建てる
柵の設置
区内の情報を防災無線で放送（死亡・葬式）
奥山の草刈（来年末のウォークラリーのため）
お宮さんの提灯を新しくする
区内の祭を無線放送
子ども・若者が触れ合える体育館等の施設づくり
倉垣ネット設置（コミュニティ講座開設などをする）

その他

中高年や主婦などが働く場所作り
（地域の特産品作り→販売所作り→働く場所）
村の物語を創造（倉垣のイメージづくり）

五年後・十年後の奥大野の将来像は！